

## 5 学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援

### (1) 学生支援内容について

	担当部署名	内容
就職支援	企画推進部	求人依頼・求人受付・求人情報配信・学生就職ガイダンス・面接指導等・就職指導等
進学支援	企画推進部	指定校情報管理・情報配信
履修支援	学事部、各学科アドバイザー	履修登録相談・指導
生活支援(住居)	企画推進部	住居(アパート情報)の紹介
生活支援(アルバイト)	企画推進部	アルバイトの情報揭示
経済支援	学事部	学費分納・学費延納・ローン情報の提供
保健・衛生・メンタルヘルス等	学生委員会	カウンセリング室・保健室

### (2) 奨学金制度について

#### ①学園の奨学金制度

種類	要件	申込方法
学校推薦型選抜入学試験Ⅰ期(校長推薦)奨学金	学校推薦型選抜入学試験Ⅰ期(校長推薦)合格者のうち、経済的な理由により本人が希望した学生 (各学科専攻2名以内 計10名以内)	入学願書と同時に所定の書類を提出
一般選抜入学試験Ⅰ期奨学金	一般選抜入学試験Ⅰ期合格者のうち、当日の試験成績上位者で選考。 (各学科専攻2名以内 計10名以内)	入学願書を提出
社会人・学卒者入学試験奨学金	社会人・学卒者入学試験受験者のうち、当日の試験成績優秀者で選考。	入学願書を提出
4年制大学編入『私』宣言奨学金	1年次に在学する学生で「私」宣言書を提出し、かつ卒業後4年制大学編入学試験に合格、編入学しようとする者	入学後、指定期間に所定の書類を提出

富山福祉短期大学後援会奨学金	学習意欲が高く、経済的理由により修学困難な者	入学後、指定期間に所定の書類を提出
----------------	------------------------	-------------------

②本学学生が利用可能な外部の奨学金制度

種類	要件	申込方法
日本学生支援機構	経済的理由により修業に困難があると認められる者	下記①②のいずれか ①入学前に高校で予約手続き ②入学後に本学で手続き
富山県奨学資金	保護者等が富山県内に居住していること、学業成績（GPA）が一定以上（3.5）である者	下記①②のいずれか ①入学前に高校で予約手続き ②入学後に本学で手続き
射水市奨学資金	射水市に住所を有する世帯に属する者	射水市にて募集要領に沿って手続き
各地方自治体奨学金	各地方自治体に住居を有する者。その他条件については、各自治体によって定められている。	各自治体にて募集要領に沿って手続き
富山県介護福祉士等修学資金	卒業後、富山県内において介護福祉士として業務に従事しようとする者	下記①②のいずれか ①入学前に高校で予約手続き ②入学後に本学で手続き
富山県看護学生修学資金	看護師免許取得後、富山県内の施設等において看護業務に従事しようとする者	入学後本学で手続き
各地方自治体看護学生修学資金	看護師免許取得後、各自治体の施設等において看護業務に従事しようとする者	各自治体にて募集要領に沿って手続き
各病院奨学金制度	看護学科に在籍及び卒業後に指定施設にて看護の業務に従事しようとする者	各病院にて募集要領に沿って手続き

(3) ボランティアセンターについて

<p>取組状況の記載</p>	<p>本学のボランティアセンターは、平成19年5月1日に開設されました。短期大学としては先駆的な取り組みであり、短大組織への位置づけも含め、富山県内初の試みとなりました。</p> <p>ボランティアセンターは、「共に生きる社会・地域づくりへの体験的学びの場としてのボランティア活動を学生に提供し支援することを通して、本学の教育目的である『社会性・創造性豊かな人間形成』を目指すとともに、医療・福祉専門職の養成校として本学の社会貢献的役割を強化充実すること」を目的としています。</p> <p>掲示板でのボランティア活動の募集に加え、ホームページを開設することで、学生がよりボランティア活動に取り組みやすい環境を提供しています。また、県内のボランティアを募集する施設等がアクセスしやすい環境を整えています。</p> <p>当センターでは、三ヶ地区コミュニティーセンター、射水市社会福祉協議会、地域の施設等との連携を重視した運営を行っています。</p> <p>また、本学では生涯学習力の修得を目的とする総合科目「地域つくりかえ学」においてボランティア活動を推奨しています。その際、ボランティアセンターを活用し、地域の障がい者、高齢者、幼児等の様々なボランティアに取り組んでいます。多くの学生がボランティアをすることの喜びや充実感を得ることができ、ボランティア活動への意欲を高める機会提供の中心となっています。</p>
<p>センターの所在地</p>	<p>富山福祉短期大学2号館1階「ボランティアセンター」</p>

(4) 大学国際交流及び学生の国際交流について

<p>・令和元年度において、海外の大学等よりの留学生の受入れ、海外派遣学生の実績はありません。</p>
---

(5) 社会貢献活動及び大学間連携・産官学連携の概要【社会貢献活動】

<p>本学は、福祉、看護、教育系の3学科を有しており、それぞれの学科が地域に関わりながら公開講座を実施しています。また、生涯学習授業等として、「地域つくりかえ講座」と銘打ち、講座の開講や地域連携活動を継続して展開しています。関係教職員の協力の下、地域住民、関係機関職員、高校教諭、高校生を対象にこれらを実施しています。</p> <p>令和元年度の主な実績は、次のとおりです。</p>			
No.	実施日	タイトル	受講者数
1	5月30日	自然育児のすすめ～森のようちえん体験会	18

2	6月5日	交流分析入門～あなたもOK、わたしもOK～	6
3	6月13日	子どもの可能性を拓くコミュニケーションについて考えよう	3
4	6月19日	交流分析入門～人生のシナリオを書きかえる方法～	7
5	6月26日	地域創生と、ツーリズムの果たす役割	4
6	7月4日	地域住民の巻き込み方	10
7	7月11日	看取りケアのスキルアップ	6
8	7月14日 ～9月1日	臨床美術士5級資格取得講座	7
9	7月20日	地域いきいき臨床美術セミナー	28
10	7月21日	澤武紀行と歌う「ふるさとの空」&ボイストレーニング	15
11	7月26日	しあわせのつくりかた	11
12	8月7日	介護が必要な人のからだの動かし方	12
13	8月9日	性の多様性	6
14	8月21日	親の介護が気になったら（認知症）	7
15	8月23日	きときとアート塾『夏休み・お絵かき昆虫採集』	10
16	8月31日	センサによる認知症予兆の早期発見	17
17	8月31日	認知症機能低下予防の運動コース	13
18	8月31日	認知症の方への接し方	12
19	8月31日	認知症になってからも自分らしく暮らすために	12
20	8月31日	認知機能低下予防の臨床美術コース	11

21	9月7日	臨床美術セミナーin 富山市	34
22	9月14日	施設で実施する感染防止対策の基本	3
23	9月21日	エンジョイ♪親子運動あそび体操	10
24	10月9日	対人援助で必要な面接技術～共感・受容・傾聴から学ぶ基本的態度	10
25	10月11日	共生社会の実現に向けて～バリアを乗り越えるためのヒント～	5
26	10月19日	突然ですが、お先に天国に引っ越します！	59
27	10月27日 ～1月5日	臨床美術士4級資格取得講座	3
28	11月15日	きときとアート塾『炎を描く』	6
29	12月13日	きときとアート塾『立山の初日の出』	10
30	R元1月24日	今後の地域づくりの方向性について	120
31	2月1日	ふくたん心理学セミナー	8
		計 31 講座	483 名

#### 【大学間連携】

本学は、平成9年11月から富山県大学長懇話会に参画し、平成13年12月に富山県大学連携協議会に組織を改組しました。富山県内の高等教育機関10機関とともに、相互協力のもと、研究・教育等の連携を推進しています。地域社会とのつながりや、相互の結びつけを深め、教育研究のさらなる向上に寄与することを目的として活動しています。

さらに、平成25年4月に富山県大学連携協議会を発展的に解消し、大学コンソーシアム富山として生まれ変わり活動しています。大学コンソーシアム富山は、各機関の知的資源を有効活用し、地域社会に貢献することを目的として設置されています。

#### 【産官学連携】

令和元年度の実績はありません。

## II 5・(6) 心身の健康等に係る支援について

取組状況の記載	<p>定期健康診断を、年に 1 回実施し健康確認を行っています。病気や障害等があり学内外の授業で支援が必要な学生がいた場合は、本人に承諾を得たうえで、学内教職員間で病状や発作等の対処法等を共有し、対応しています。</p> <p>本学では学生一人ひとりに担当教員を配置するアドバイザー (AD) 制度を設けており、学生が悩みを打ち明けやすい環境を作っています。相談を受けた AD は、学生データベースに記録し、必要に応じて他の教職員と情報共有し、対応にあたります。</p> <p>また、5 号館に保健室とカウンセリング室を設置しており、保健室は看護師資格をもつ教員が中心となり症状に合わせ適切な処置・指導を行います。カウンセリング室は、月 2 回非常勤カウンセラーを招いており、予約はメールでもできるので周りに知られることなく安心して受ける事ができます。</p>
---------	--